

# 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

## 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川キララホール
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	所管課	生涯学習推進課
指定管理者	名称	秋川キララホール運営共同事業体
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	業務内容	1 文化ホール及びこれに附属する設備の使用に関すること。 2 市民の文化活動を推進するための事業に関すること。 3 文化ホール及び附属設備等の維持管理に関すること。 4 あきる野市教育委員会が必要と認める事業に関すること。 5 その他指定管理を行う上で必要な業務に関すること。
ホームページURL		<a href="http://akigawa-kirarahall.jp/">http://akigawa-kirarahall.jp/</a>
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日まで

## 2 施設の利用状況等について

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館等日数(日)	306	306	260	277	306
利用者(来客者)数(人)	67,391	59,176	9,575	20,646	37,248
前年度比(人)	△4,773	△8,215	△49,601	11,071	16,602
前年度比(%)	93.4	87.8	16.2	215.6	180.4
利用料金(売上)合計(千円)	22,479	19,405	6,914	13,613	17,433
前年度比(千円)	1,643	△3,074	△12,491	6,699	3,820
前年度比(%)	107.89	86.3	35.6	196.9	128.1

## 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入	指定管理料	67,049	68,074	69,101	68,275	69,103
	使用料収入(売上)	22,479	19,405	6,914	13,613	17,433
	主催事業収入	19,118	19,306	7,006	12,695	18,734
	自主事業収入	48	4,861	88	120	174
	共催事業収入	-	-	-	-	-
	その他の収入	2,370	2,218	4,104	859	1,747
	公共施設 安定運営補償金	-	-	-	-	3,890
	計	111,065	113,864	87,213	95,562	111,080
支出	人件費	39,354	34,670	29,830	34,444	33,244
	施設維持管理経費	31,521	29,763	26,176	29,884	33,893
	運営管理費	43,623	42,429	22,015	34,559	44,445
	自主事業関係経費	520	5,129	784	448	944
	その他の支出	-	-	-	-	-
	コロナウイルス影響 による違約金等	-	-	293	-	-
	計	115,018	111,992	79,098	99,335	112,525
収支(収入-支出)	9,285	△3,953	8,115	△3,773	△1,445	

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・貸館事業については、ホール利用者に使いやすさや設備などについて、その都度アンケート（筆記形式）を実施しました。主催・自主事業については、お客様にアンケート用紙をお渡しし、内容を評価していただきました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・コロネード外側の地面敷か所にタイルがはがれるなどの破損があり、つまずいて転ぶ可能性があるところのご指摘をいただき、歩行上問題がないように修繕を行いました。 ・インターネットによるチケット販売が事業者の事情により休止となっておりますが、利用者から望む声があり、令和5年度での新たな事業者での再開を目指し検討を開始しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ホールを借りてくださる主催者様にも感染症対策に協力いただくため、打ち合わせの際に丁寧に説明しご理解いただきました。また引き続き手指消毒用のアルコール消毒液とスタンド式の非接触体温測定器をホール入口に設置し、ホールで作成するチラシにて感染症対策を周知するなど、お客様が安心してご来館いただけるよう最大限努めました。 ・2年間開催見合わせとなっていたキララ合唱団（練習・定期演奏会）、キララバンド定期演奏会、エントランスコンサート、ヨルイチコンサートおよび市との共催事業である「家庭の日」推進事業『親子鑑賞会』、青少年音楽の祭典について、新型コロナの影響を考慮しつつなんとか再開でき、前年からの入場者の大きな増加につながりました。 ・自主事業として実施した「スタインウェイを弾きませんか」と「キララホールを使ってみませんか」は35組のご参加があり、前年度（20組）からより多くのお客様にホールを体験いただくことができました。 ・友の会の会員数が従来約1,000名であったところ新型コロナウイルス感染症の影響で令和4年3月末に425名まで大きく減少しましたが、過去へさかのぼってのDM郵送（約3,000名あて）、およびチケット購入時の入会勧誘取り組みにより令和5年3月末に747名戻すことができました。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
施設では職員を対象に経費削減に関する研修を年2回実施しました。それに基づき、舞台技術担当者との連携を強化し、ホール利用がない期間中の電化製品、冷暖房や照明のこまめなオン・オフによる節電、またコピー用紙の裏紙利用の徹底等のコスト削減に努めました。また広告宣伝に関しても、公演ごとのチケット売上状況に応じて費用を配分するなどして抑制を図りました。光熱水費の急激な高騰に対しては供給会社の見直しを進め、電力供給会社については変更を行いました。（反映は令和5年度4月から）

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
令和4年度はさらなるホール利用の回復傾向により収入は前年度比116.2%にはなったものの、引き続き新型コロナウイルス感染症による影響が入場者数、稼働率にあり、コロナ前までの状況に戻るまでには至りませんでした。 しかしながら、感染対策をとりながら主催事業に加え前年開催することのできなかった支援育成事業、まちづくり推進事業、地域連携事業、市民参画事業が概ね開催でき、来年度へつながるステップとなりました。来年度こそは計画されている事業の開催とともに入場者、稼働率もコロナ前のレベルに復活できるように取り組んでまいります。

#### 7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、キララ合唱団やキララバンド定期演奏会や親子鑑賞会等、事業を再開することができています。また、コロナ禍により会員数が減少していた友の会についても、再度、周知を図ることで300人以上のお客様の入会と利用者数増加につながったと思います。引き続き、市民サービスの向上に努めてください。
経費削減の取組
経費削減に関する研修の実施を行い、ホール利用がないときの節電、裏紙の利用などで経費削減に対して努力を払っています。今後も引き続きそのような工夫を続けてください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価

前年度と比べて、徐々に事業が実施できる回数も増えました。次年度も計画されている事業を実施するとともに、引き続き、お客様が安心・安全に利用できるよう心がけてください。

総合評価

**A**

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。